

J R 東海 労 幹 関 西 地 「 申 」 第 1 0 号  
2 0 1 4 年 9 月 2 4 日

東海旅客鉄道株式会社  
新幹線鉄道事業本部関西支社  
支社長 田中 守 殿

J R 東海 労働組合新幹線関西地方本部  
執行委員長 小林 國博

## 「大阪台車検査車両所における職場諸要求」に関する申し入れ

表題について、下記の通り申し入れるので、早急に労使協議の場を設定し改善すること。

### 記

#### 1. 基本要 求

- ① 始業点呼を6F事務所灯で行うこと。
- ② C担務者をB担務に就かす根拠を「総合的判断」とせず、社員が納得できる明確な根拠を明らかにし本人の同意を前提にして担務に就かせること。
- ③ 輪軸・台車グループ間の交流を活性化させ技術力向上に向け努力すること。
- ④ 職場で行われている時間内教育は現在、業務終了後に行っているが、台車工程表から考えると無理なのでやめること。
- ⑤ 作業工程についてのチェックリストが毎年増えているが、会社が進めている「経費削減のためのペーパーレス」との関係では矛盾が生じると考える。早急に見直しをはかること。

#### 2. 防 暑 ・ 防 寒 対 策 に つ い て

- ① 防暑対策として全社員にスポーツドリンクを配布すること。
- ② 現場に浄水器付き冷水器の増設をはかること。
- ③ 現場に詰所を設け、冷暖房の充実化をはかること。
- ④ 台車組み立て・中修上の屋根に防暑塗装を施すこと。
- ⑤ 台車検査庫内のトイレ内の冷暖房を設置すること。

#### 3. 職 場 諸 要 求 に つ い て

- ① 1年前から天井と側面に取り付けてある水銀灯や蛍光灯の多くが点灯しないままになっている。その都度、管理者に照明器具の点検と取り替えを要請しているが放置されている。早急に台検庫内の照明設備の充実をはかること。
- ② 台検庫内のほこり対策の充実をはかること。
- ③ 月3回の総点呼をやめること。

- ④ 管理者による「労働監視」をやめること。
- ⑤ 昼の「KYT活動」をやめること。
- ⑥ 心の病の対象者は職場に何名いるのか明らかにされたい。
- ⑦ 年休の抑制となる見習いと出張をやめること。
- ⑧ J職群の検査業務就労者の選定理由を明らかにされたい。
- ⑨ 勤務時間内のQC活動・業研・勉強会を超勤扱いとすること。
- ⑩ 会社が主催するレクレーション活動での事故・怪我は労災扱い同様の対応とすること。
- ⑪ 昇進試験受験の取り扱いは、自己の時間とせず勤務時間扱いとすること。
- ⑫ 通勤時の背広・スーツ姿の強要はやめること。
- ⑬ 職場での本人の同意を無視したプロジェクトへの参加強要はやめること。
- ⑭ 個人業研への参加の強要はやめること。
- ⑮ 現場喫煙箇所での分煙化をはかること。
- ⑯ 活発な輪軸・台車グループの交流をはかること。
- ⑰ 各パートに棒芯制度の復活をはかること。
- ⑱ 希望する社員全員に特殊技能資格（フォーク、電気、ガス溶接、クレーン、砥石取り扱い、有機溶剤等）の教育資格を与えること。
- ⑲ 台車組み立て作業に使用する軸距・ギャップ測定治具の定期的検査を充実すること。
- ⑳ 鳥飼食道のメーカー変更に伴い品物もボリューム感もなく値段が上がっている。社員にアンケート調査を行い早急に改善をはかること。
- ㉑ 庫内のドラム缶撤去に対応するため、給油用GK、スーパータービン油の油量を拡大すること。
- ㉒ 石油ストーブ撤去に伴い、暖房能力が低下したので暖房機を増設すること。
- ㉓ 6階男性用トイレを増設すること。
- ㉔ 混雑解消と障害防止の面からも庁舎階段を使用可とすること。
- ㉕ 全社員が参加出来る緊急時の避難訓練を実施すること。また、災害・緊急時の避難箇所を明らかにすること。
- ㉖ 17時20分発の茨木行きバスを増発すること。
- ㉗ 茨木駅バスターミナルに屋根を設置すること。
- ㉘ 職場の駐車場、バイク駐輪場を増設すること。
- ㉙ 油脂等の庫内への運搬は、安全面からも以前のとおり外注作業とすること。
- ㉚ 始業点呼時間は総点呼も含め5分以内とすること。
- ㉛ 大阪修繕車両所職場の軸パレット移動用ローラーの改善をはかること。
- ㉜ 各パートで使用しているトルクレンチの更新をはかること。

以上